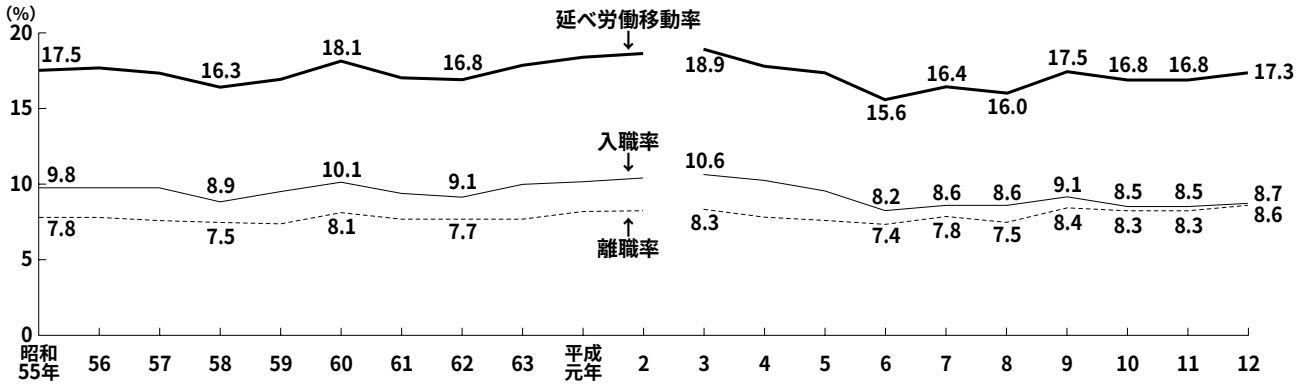
平成12年上半期雇用動向調査結果（速報）

労働移動の状況

― 労働移動はやや活発に ―

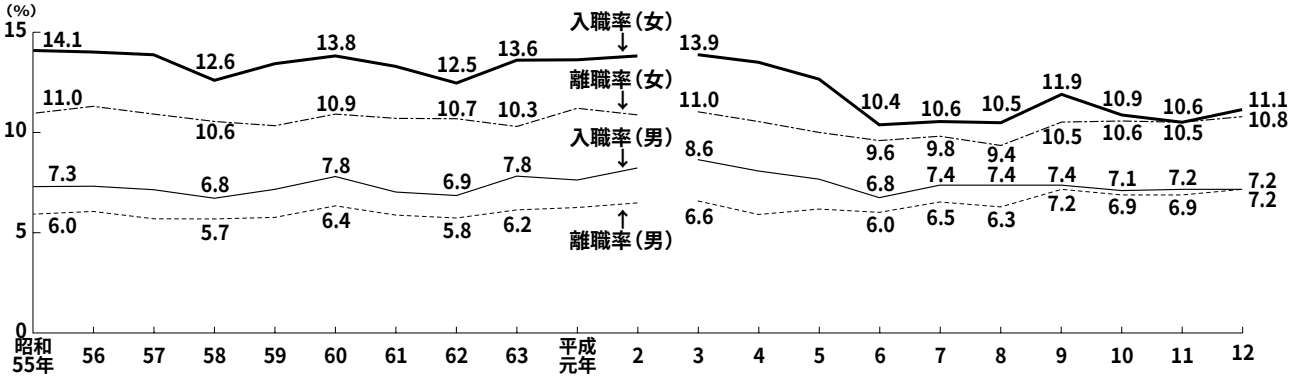
(1) 平成12年上半期の延べ労働移動者は約718万人（前年同期約696万人），入職者約362万人（同約353万人），離職者約356万人（同約343万人）で，延べ労働移動率は17.3%（同16.8%）と，やや活発になった。入職率は8.7%（同8.5%），離職率は8.6%（同8.3%）と，引き続き入職超過となったが超過幅は縮小してきている。

第1図　労働移動の推移（各年上半期）



(2) 入職・離職率を男女別にみると，男は入職率が7.2%（前年同期7.2%），離職率が7.2%（同6.9%），女は入職率が11.1%（同10.6%），離職率が10.8%（同10.5%）となった。

第２図　性別入職率・離職率の推移（各年上半期）



（注）平成3年からは建設業を含む。（第1図，第2図）

(3) 入職・離職率を就業形態別にみると，一般労働者は入職率が7.3%（前年同期7.1%），離職率が7.2%（同7.0%），パートタイム労働者は入職率が15.4%（同15.2%），離職率が15.1%（同14.5%）となり，いずれも入職超過となった。

(4) 主な産業別に入職・離職の状況をみると，入職率は「卸売・小売業，飲食店」10.7%，サービス業10.3%，建設業9.3%，製造業5.6%となり，離職率は「卸売・小売業，飲食店」10.3%，サービス業9.8%，建設業9.0%，製造業6.2%となった。製造業では離職超過が続いている。

資料：厚生労働省